

品番 LYU13

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。  
 取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

安全に関するご注意

**警告**

<p><b>必ず守る</b></p>	<p>■器具の取付けは、施工説明書にしたがい確実に行ってください。                  取付に不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。</p> <p>■器具と被照射面は50cm以上はなしてください。                  指定距離より近いと、被照射物の変色・火災の原因となります。</p> <p>■タイル面など取付け面に凹凸がある場合は、すき間を埋めてください。                  本体パッキンと取付け面とのすき間を防水シールなどで埋めてください。</p> <div data-bbox="252 1167 759 1361"> <p>パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。</p> </div> <p>防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。</p>	<p><b>禁止</b></p>	<p>■こんな場所に取付けないでください。                  この器具は防雨型・壁面取付専用です。                  下図のような取付けは火災・感電・落下によるけがの原因となります。</p> <div data-bbox="975 808 1501 1279"> <p>補強のない薄い壁面 (ベニヤ板や石こうボード)</p> <p>本体パッキンより小さい取付面</p> <p>傾斜した取付面</p> <p>浴室などの湿気の多い場所</p> <p>据置き</p> <p>天井面</p> </div> <p>■器具表示の指定方向以外は取付けないでください。                  指定外の取付けは、火災・落下によるけがの原因となります。</p> <p>■交流100ボルト以外で使用しないでください。                  過電圧を加えると加熱し、火災・感電の原因となります。</p>
<p><b>アース線接続</b></p>	<p>■接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行ってください。                  接地が不完全な場合、感電の原因となります。</p>		

**注意**

<p><b>禁止</b></p>	<p>■温度の高くなるものの上に取付けないでください。                  ガス機器やその排気筒の上に取付けないでください。                  火災の原因となります。</p>	<p><b>禁止</b></p>	<p>■調光器との併用はしないでください。                  ライトコントロール・明暗スイッチなどの調光器との併用はしないでください。                  火災の原因となります。</p> <p>●調光器の取りはずしが必要です。                  調光器の取りはずしには資格が必要です。                  工事店、電器店に依頼してください。</p>
------------------	--	------------------	--

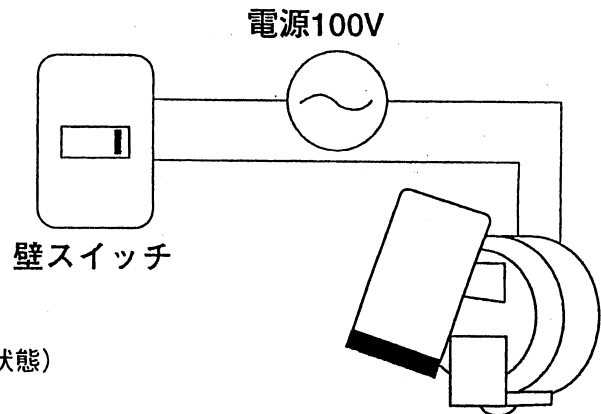
## 取付場所について

- 熱線センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は「設定のしかた」(P.4)の項目をよくご覧のうえ、設定してください。
- 検知部前面に障害物がある場合(透明なガラスも含む)検知できません。
- 次のような場所には取付けないでください。  
このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。



## 配線について

- 壁スイッチは必ず併設してご使用ください。  
付属されていないので別途ご用意ください。
- 壁スイッチがないと・・・
  - ・センサによる点灯時に異常が発生したとき、リセットできません。
  - ・センサに関係なく強制点灯することができません。
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチをONにしても照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。
- 壁スイッチは器具1台につき1コでご使用ください。  
2台以上の器具を接続すると連続点灯(取扱説明書参照)に切り替えるときに不具合が生じます。



# 各部のなまえと取付け方



## 注意

取付けの際は、安全のため電源を切ってください。  
通電状態で行うと感電の原因となります。

右図のように器具を分離してください。

### 1. 取付板を取付ける

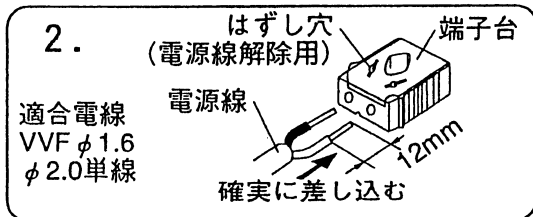
補強材のある場所に付属の木ネジ (2本) で

- 取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

### 2. 電源線を接続する

端子台に

- 接続が不完全な場合、火災の原因となります。
- 接地端子ネジからD種 (第3種) 接地工事を行ってください。



### 3. 本体を取付ける

付属の袋ナット (2個) で

- 取付けが不完全な場合、感電・落下によるけがの原因となります。

### 4. ランプを取付ける

ソケットに

### 5. ガラスパネルを取付ける

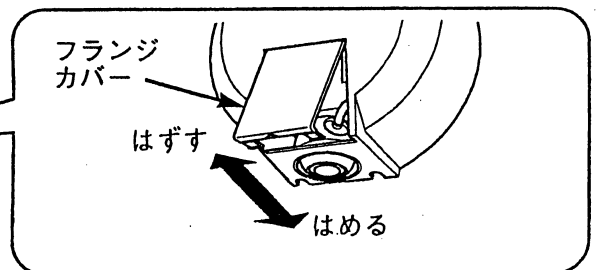
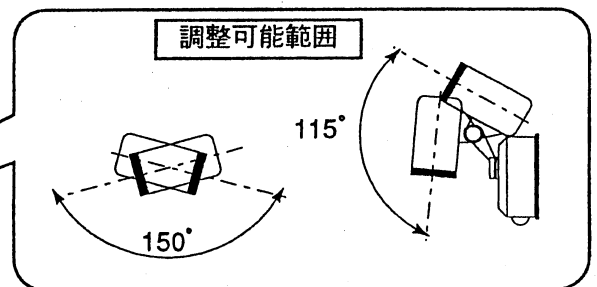
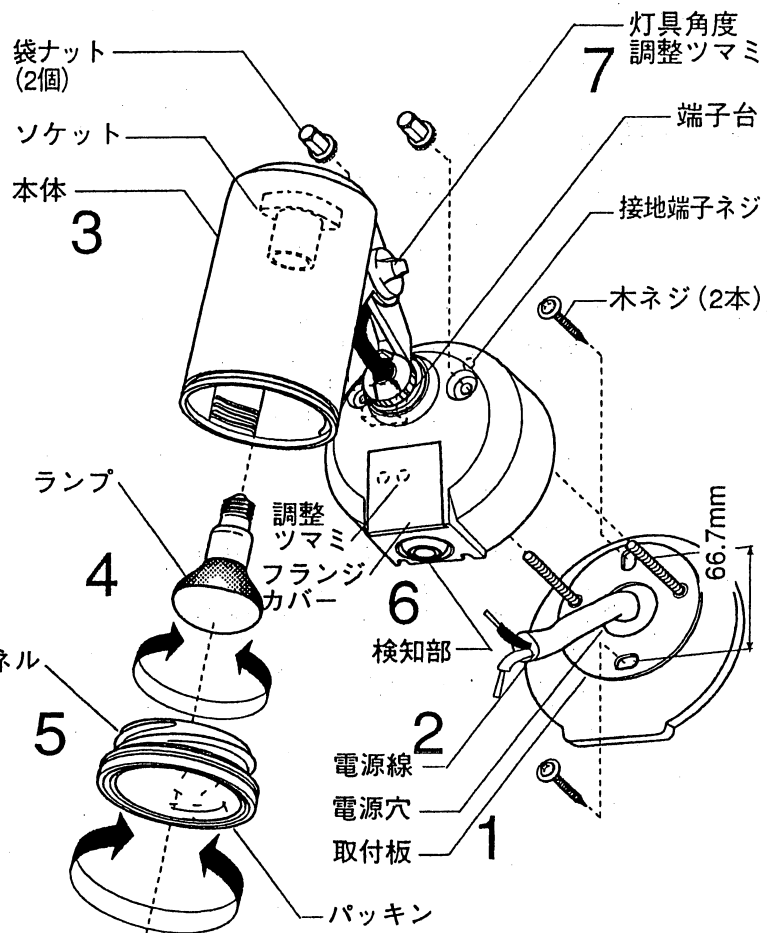
- 取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

### 6. フランジカバーをはずして 検知部・調整ツマミの位置を設定する

- 「設定のしかた」(P.4) を参照して取付場所に応じて調整してください。

### 7. 灯具角度調整ツマミをゆるめて 照射角度をあわせる

- 灯具角度調整ツマミは必ず締め付けて使用してください。締め付けが不完全な場合、火災・落下によるけがの原因となります。
- フランジカバーは必ず取付けて使用してください。フランジカバーをはずしたまま使用すると水が侵入し、感電・故障の原因となります。



# 設定のしかた 検知範囲の設定は昼間に行うこともできます。

壁スイッチがOFFになっていることを確認してください。

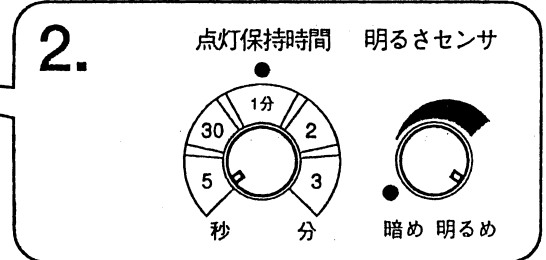
## 1. フランジカバーをはずす

- ・「各部のなまえと取付け方」(P.3) を参照してフランジカバーをはずしてください。

## 2. 検知範囲を設定する

### (1) 調整ツマミの設定を変更する

- ・点灯保持時間を「5秒」にする
- ・明るさセンサを「明るめ」(右いっぱい)にする



### (2) 壁スイッチをONにし、検知範囲の外に出て待ち、約30秒後に消灯することを確認する

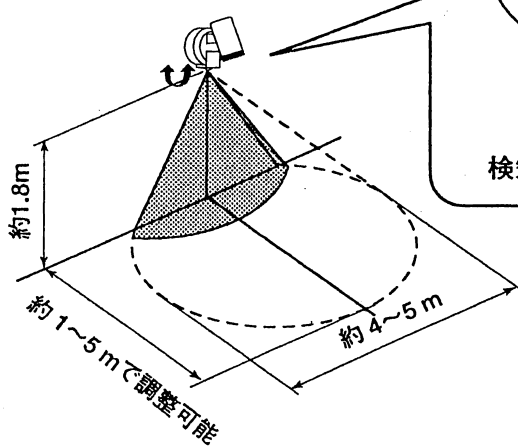
- ・消灯しない場合は強制点灯になっている(検知部が赤く光っている)場合が考えられます。
- この場合は壁スイッチを一度OFFにしてから再びONにしてください。

### (3) 検知範囲を調整する

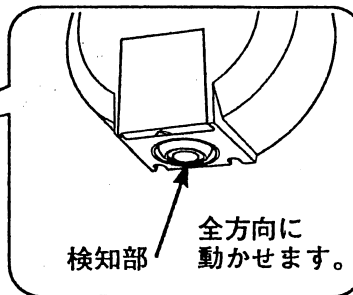
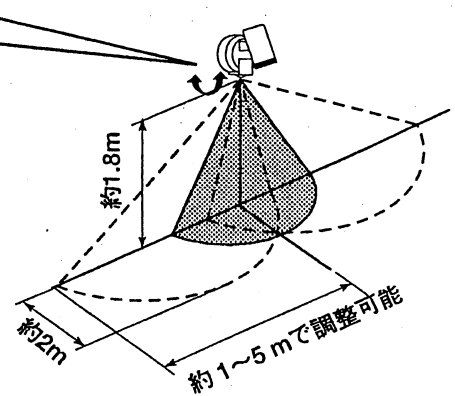
- ・検知部を動かして現場に合った検知範囲を設定してください。

- 注) ・本センサは人の動きなどの温度変化分を検知するため、人以外の熱源(動物、車等)が移動したときも検知する場合があります。
- ・検知範囲内に人がいても静止している場合は検知できません。
  - ・検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、検知物の熱量、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。
  - ・器具に向かってまっすぐ接近した場合は検知しにくい場合があります。

### ●前後に可動させた場合



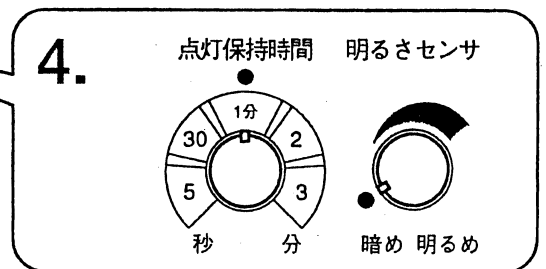
### ●左右に可動させた場合



## 3. 一旦壁スイッチをOFFにする

## 4. 調整ツマミを使用状態に設定する

- ・点灯保持時間を「1分」にする
  - ・明るさセンサを「暗め」にする
- ⇒ おすすめの設定



## 5. フランジカバーを取付ける

- ・「各部のなまえと取付け方」(P.3) を参照してフランジカバーを取付けてください。

## 6. 壁スイッチをONにする

東洋エクステリア株式会社

取説コード

Z009

199903A